

人 Nana

あな

中信ビジネス情報誌

2022 Vol.147
Business information magazine

特集 [伝統を継ぐ]

打刃物司 株式会社 菊一文字

【経営者列伝】

連綿たる伝統

「西陣織」の底力

六文字屋 / 岡文織物株式会社

【この企業にこの技あり】

鉄と空気の電池で

世界中に“蓄電インフラ”を構築

CONNEX SYSTEMS株式会社

【景気動向調査】

日本の
切れ味を守る。

Special Feature
Traditional arts and crafts

特集「伝統を継ぐ」

打刃物司

株式会社 菊一文字

「厄を断ち切る」という意味合いから、
世界中で厄除けとして
使われてきた刃物は、
「幸運を切り拓く」ものとして、
祝いの中でも使われてきた。
伝統工芸の未来を切り拓くのもまた、
鍛え上げられ、研ぎ澄まされた
刃物なのかもしれない。



日本の
切れ味を守る。

十八代目
泉 将利 氏

株式会社 菊一文字 代表取締役。岐阜県関市の工房などで約2年の修業を積み、1992年、同社に入社。2011年、代表取締役に就任。

三條通寺町を東へ入った所、「三條名店街」と呼ばれる商店街の一角に、菊一文字本店はある。こぢんまりとした店内を埋め尽くすように並ぶ刃物の数々に、足を踏み入れる前から圧倒される。店内最奥の棚には大小さまざまな包丁が並び、中には日本刀と見紛うほど長大なものもある。その周囲に漂う緊張感に、思わず息を呑む。刺身包丁の一本を試させてもらうと、すつとほとんど何の抵抗もなく刃が入り、わずかな手応えだけを残して食材が切れる。恐ろしく鋭い切れ味に、包丁を握る手から汗がにじんだ。「うちで取り扱っているのは、和食に使う包丁が多いですから。お刺身のように、切った食材の断面まで美しく見せるためには、これくらい鋭い切れ味が必要なんです」と教えてくれたのは、菊一文字の十八代目、泉将利さんだ。

刃物職人とユーザーの間に立ち、販売からメンテナンスまでを手掛ける菊一文字の職人は、誰よりも本物の価値を知っている。



出刃庖丁や菜切包丁、刺身包丁など、店内には多種多様な包丁が並ぶ。材質や刃長、デザインの違いなども含めれば、その種類は無限にあるといっても過言ではない。

明治時代に作られた看板。「菊一文字」の上に刻まれた轡印は登録商標であり、泉さんいわく「いつから付いていたか分からない」ほど、古くから同店のシンボルとして知られている。

刀鍛冶の技術が息づく 日本の刃物づくり

菊一文字の創業は明治9年。およそ150年の歴史を持つ刃物屋である。しかし、刀匠としての歴史はそれよりはるかに深く、後鳥羽上皇の時代以来で遡る。上皇によって御番鍛冶に任命された一文字派の名工・則宗は、刀に菊の御紋を戴くことを許されたため、「菊一文字」を名乗るようになったのだという。

そうして、幕末の頃まで堺で刀鍛冶に専念してきた菊一文字は、廃刀令をきっかけに拠点を京都へ移し、一般刃物の製作販売に生業を切り替えていった。

「明治期、西洋の肉食文化と共に牛刀（西洋包丁）が持ち込まれました。その技術と、日本独自の技術を組み合わせ、今日の万能包丁が作られるようになったんです」

戦の道具から、食材を切るための調理器具へ。用途は変わったが、その基本的な作りは今も変わらない。泉さんたち菊一文字の仕事は、その良し悪しを見分け、「本物」の刃物をエンドユーザーに届けること。そして、必要に応じてメンテナンスをすることだ。

「切れ味が鋭く、刃持ちが良い、というのが良い刃物の条件です。それは材質の硬さに左右されるわけですが、ただ硬いだけではなく、粘りのある硬さが必要なんです」

泉さんいわく、その違いは研ぎ比べれば分かるとのこと。早速、作業風景を見せてもらうことにした。店内奥にある木台はメンテナンススペースになっており、蓋を外すと何種類もの砥石が水に浸けられている。刃を水にさらし、シャカシャカと小気味よい音を立てながらリズムカルに研いでいくと、心なしか、刃の艶も増していくように見える。

「極端に言えば、素材が硬いと滑ってスムーズに研げず、柔らかいと引がかかって、やはり研ぎにくいんです。同じ素材・同じ職人さんの刃物であっても、その出来はコンディションによって変わる。そこを見極めて、最良のものを選ぶのも、私たちの仕事です」



万能包丁や文化包丁とも呼ばれる、和式の三徳包丁。積層状の刃が美しいこれらの包丁は、お客様の前で料理する板前さんも好んで使うのだという。（表紙）





〔京都本店〕
〒604-8036
京都市中京区三条通寺町
東入る石橋町14

〔烏丸支店〕
〒600-8491
京都市下京区四条通室町
西入る鶏鉦町474



ばさみ
和鉋や裁鉋、爪切りなど、包丁
以外の刃物も充実。もちろん、
その切れ味は一級品だ。

伝統工芸の持続可能性。 菊一文字は、その最前線に立つ。

商売柄、家の中にも砥石などの道具が置かれていたという泉さんは、幼少の頃から刃物に触れてきた。「『子どもにも刃物に触らせるなんて危ない』と思われるかも知れませんが、ですが、子どもの頃から刃物に慣れておく方が却って安全なんです。切れ味についても同様で、よく切れる包丁を使う方が、余計な力が入らず安全です」

現在、泉さんには8歳の双子の娘がいる。二人とも料理好きとのことだが、なんと3歳の頃には既に包丁を使わせていたという。しかし、『それなりに切れる』安価な包丁がいくらでも流通している現代社会において、あえて『本物』を選ぶ意義はあるのだろうか。

「実際に使えば分かっていただけだと思いますが、やはり刃持ちには雲泥の差があります。何より、使いやすい重さや太さ、サイズなどは人それぞれ違うわけですから、毎日使うものなら尚更、自分に合ったものを使っていく方が良いと思います」

菊一文字では、切れ味が落ちた刃物の研ぎや、購入した刃物への名人入れ、さらには用途に応じた研ぎ方の調整など、ユーザーの要望に寄り添った対応を続けてきた。その根底にあるのは「良い刃物を末永く使い続けてほしい」という祈りではないだろうか。

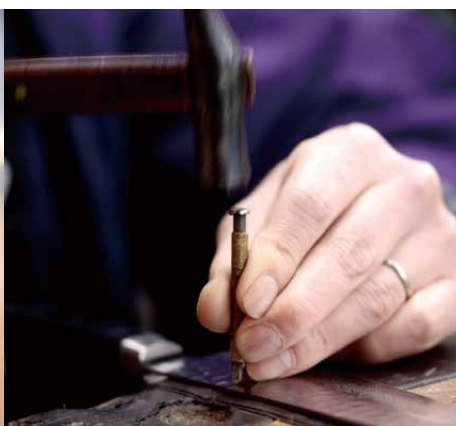


泉さんの双子のお子さんは、一人が右利きでもう一人は左利き。菊一文字では、左利き用の刃物も広く取りそろえている。

近年、職人から直接エンドユーザーにつながるネットワークが広がりをを見せており、コロナ禍の影響もあって、その数はますます増加傾向にある。しかし、伝統工芸の持続可能性について考えるとき、そこには菊一文字のような「職人の技を守り伝える職人」の存在が欠かせない。本物を見極める確かな目と、ユーザーの要望を形にする企画力を持つ同店は、これからも、刃物づくりの伝統を守る砦であり続けるだろう。



刃物に名入れすることを「銘を切る」という。基本的には一本の鑿で切っていくが、響印には専用のものを用いる。



連綿たる伝統 「西陣織」の底力

六文字屋／岡文織物株式会社

代表取締役社長 岡本 就介氏(右) 企画室長 岡本 夏樹氏(左)



昔ながらの町家が建ち並ぶ西陣の地で、300年以上にわたり西陣織の帯を織り続ける「六文字屋／岡文織物株式会社」。茶道・華道・能・狂言、宗教行事など日本固有の文化を支えてきた西陣織だが、コロナ禍もあつて市場には強い逆風が吹いている。現経営者は14代目。歩んできた道のりと、今後の戦略について伺った。

京都西陣の老舗、 「六文字屋半兵衛」

1690(元禄3)年に初代となる半兵衛が、法衣製織業を始めたのが由来です。「南無阿弥陀仏」を意味する六文字から屋号を「六文字屋」とし、代々「半兵衛」を世襲していく形をとっております。私で14代目になります。



▲自前の織機。分業が当たり前の西陣で、企画から製作まで大部分の工程を一貫して手掛けられるのも同社の特徴。

長い歴史の中で大きな転機となったのは、明治期に入って起きた廃仏毀釈運動です。私からすると曾祖父の代に「これから仏教は厳しくなるよ」とアドバイスをくださった方がいて、それなら法衣をやめて帯に行こうと。ちょうど日本経済も伸びている頃で、景気の上昇気流に乗って「帯屋」として成長しました。それから12代目の時に西陣で株式会社化がブームになりまして、私の父になりますけれど、当主の名前「岡本文男」の岡と文をとって岡文織物株式会社を立ち上げたのが1967(昭和42)年。沿革でいえば、当社にはそういう流れがあります。

次々始めた家業 昨年14代目を継ぐ

私には5つ上の兄がいて、その兄が後継者としてやってきましたから、私は親からはずっと「好きにしていよ」と言われておりました。そもそも私に継ぐ予定はなかったのです。

大学を出てから東京のアパレル会社に就職しました。当時はバブル直前期で悩みもなく楽しくやっていたが、その頃は西陣も景気が良くて「今のうちに新たに事業を始めよう」と、自社で輸入家具・食器の取り扱いを始めることになり「人手が足りないから戻ってこい」とお呼びが掛かりました。戻つたのは、その輸入事業に魅力を感じたからです。例えば、鉾打ちの革張りソファなど、今ではテレビで普通に見ますが、当時はほぼ知られていませんでした。そういうみんなが知らないモノを買い付



▲「榎邸ギャラリー」内観。昨年7月に改装し、ギャラリーとして再生した。

西陣の中心地で 〴〵ならでは〴〵の体験を

家業の呉服と、家業で培った技術を活かした非呉服分野。それに加えて、今後の事業で考えているのは、弊社本社屋の『榎邸』の活用です。京都市から景観重要建造物と風致形成建造物に指定されている明治時代後期の町屋建築ということ、見ての通り趣があるでしょう。こういう建物の中で着るものというのとはとても

貴重な体験になります。「京都が好き」あるいは「京都を感じたい」という人に満足してもらいための場所にしていくというのは、建物を持続していく上でも重要です。昨年の7月に初めて一角をギャラリーにして浮世絵作品展を開いたら、わずか1週間で約200人のお客さまに来ていただき、そのポテンシャルの高さを実感しました。フォトスタジオにしたり、イベント会場にしたり、今後はさらなる活用法を模索していきたいと思います。(岡本夏樹氏)



▲古き良き伝統を受け継ぐ豪華絢爛なものから、現代的な感覚の色調を取り入れたものまで、色板や織は多彩を極める。

けて「これは良いね」と言ってもらおう。始めた頃は実によく売れたのです。流行を作りたいと思っていた私には、やりがいのある仕事でした。しかし、事業を始めて約1年後にバブルが弾けます。すると一切の引き合いがなくなり、私は途方に暮れることになりました。

ぼんやりしているのも何だから「帯の仕事を手伝うか」。そうやって始めたのが家業です。当時は「きものなんか誰が着るねん」と思っていましたので、本当に泣き始めたのです。けれどやっていくうちに楽しくなり、面白くなり、10年、20年…今に至っているという感じです。

13代目の兄から代表を継いだのは昨年の1月。兄は西陣織工業組合の副理事長を務めておりますが、ほかにも様々な役職に就いています。そこに一昨年、兄の息子、私からすると甥が会社に入ってくれたことで、兄はそちらに専念することになり、代替わりを決めました。

独自ブランド

『KIEEー貴瑛』の開発 「きもの〴〵ある生活」を

1990年代以降きものの消費は落ち、職人たちの高齢化が進むなど、西陣織は厳しい状況にあります。事業を継続していくためには知恵を絞らねばなりません。今後の展開の柱はいくつかあります。一つはやはり家業である織物、帯の継続ですね。これは絶対に外せない。呉服業界は歴史が長い分、高価であったり、販売の方法が不透明であったり、いろんな問題をばらんでいます。これを解消できれば風向きが変わるのではないかと。そう考え独自のブランドを立ち上げました。たとえば「値段が分からなくて怖い」といったことがないように、適正な均一価格で売っていくということです。コンセプトは彼(夏樹氏)が考えたのですが、「きもの

〴〵ある生活」です。普段の生活では、デニムで出掛けることもあればドレスを着ることもある。それらの選択肢の中の一つにきものがある。「きものを着る」ことを、特別な体験にしないでおうよう。そんな提案がこのブランドには込められています。

非呉服の部分でも柱を持ちたいと考えています。織りの技術や絹の扱いについては300余年の蓄積がありますので、その強みを活かしてビジネスをする。現在進行している話でいえば、例えば高級ホテルのクッションやベッドライナーなどがあります。さらに可能性を広げようと、今年の夏には170cm幅が織れる織機を導入する予定です。「機械が入ったら連絡をちょうだい」といった引き合いもいただいております。わかれわれもどんな展開ができるのか未知数な分、期待を持っていますね。他にもサスティナブルを意識するなど、培った技術で時代にあつた西陣織の価値を創造したいと考えています。(岡本就介氏)



六文字屋 / 岡文織物株式会社

〒602-8477 京都市上京区姥が榎町843番地
TEL:075-411-9800
FAX:075-411-9810
URL:https://www.rokumonjiya.jp/
E-Mail:contact@rokumonjiya.jp

沿革

- 1690年 初代・半兵衛が西陣にて寺院の衣服である「法衣」を織る六文字屋を創業
- 【明治期】 10代目の時代に明治政府による廃仏毀釈運動が起こり、法衣製造から帯地製造へと事業転換を行う
- 1967年 六文字屋を岡文織物株式会社として株式会社化
- 1971年 榎邸を本社とする
- 1981年 室町丸太町に自社ビルを建設(2017年に解体)
- 2020年 岡本夏樹が企画室長として入社
- 2021年 14代目・岡本就介が代表取締役就任

この企業 Vol. 13 の技ありに あ業

CONNEXX SYSTEMS株式会社
CONNEXX SYSTEMS Corporation

私たちの生活に欠かせないものの一つに、電気がある。電気を生み出す方法は多くあるが、数ある発電手段の中でも、太陽光発電、風力発電など、地球環境に対して負荷の少ない再生可能エネルギーでの発電が叫ばれるようになって久しい。しかしこれらは、人為的に発電の量やタイミングを調整することができず、最大限に活用するためには、電気を貯めるもの（蓄電池）の性能向上が不可欠であり、電気エネルギーの効率的な利用とそのためシステム構築が求められていくことになる。その可能性に挑戦する企業が京都府精華町にある。「CONNEXX SYSTEMS株式会社」だ。

医療現場へ広がる蓄電システム

同社は、大手電池メーカーで長年エンジニアとして電池の開発に携わっていた塚本 壽さんが2011年に設立。現在は、精華町の「けいはんなオープンイノベーションセンター（KICK）」内に本社および研究所を置く。

鉄と空気の電池で

世界中に「蓄電インフラ」を構築



新型リチウムイオン電池「Hyper Battery™」。90秒間の充電で30分稼働する高い充放電効率を誇る。



どこにでもある鉄だから シャトル電池は世界を目指す

代表取締役 塚本 寿 氏

「SHUTTLE Battery™」の発電の元になるのは鉄と空気ですが、鉄は安価で入手しやすいという特長があり、それが新たな蓄電インフラの構築には重要なポイントです。リチウムなどの希少資源をめぐっての紛争も避けられます。極端な話ではありますが、容器の中の鉄は、スチール缶、釘、砂鉄でもいいんです。

当社の社員は半分近くが電気または電池のエンジニア。将来的にはエンジニアたちが世界中を飛び回って、シャトル電池の作り方を教えに行けるようにしたいですね。



高齢者施設などで導入が進む、大型の産業用蓄電システム「BLP®」。平常時に太陽光発電で家電などの負荷に供給しながら、余った電気を停電時に備えて蓄電するシステムを持つ。



〒619-0294

京都府相楽郡精華町精華台7-5-1

けいはんなオープンイノベーションセンター

TEL : 0774-66-6440



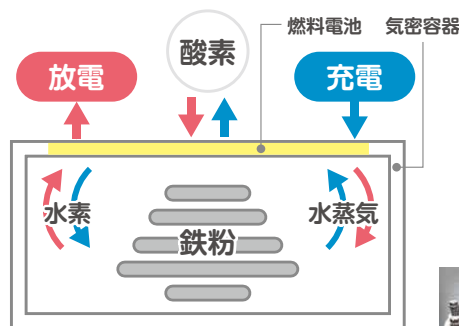
「LB0043PE4」は40cm×65cm×50cm。キャスター付きで移動の負担も少ない。

すでに、停電などの非常時に備えた蓄電システムが商品化されており、非常用小型蓄電システム「LB0043PE4」は昨年医療の現場で大活躍。新型コロナウイルスワクチンを保管する超低温冷凍庫の停電対策として需要が急増し、全国各地の自治体に300台以上を売り上げた。元々、医療機関や研究所で使う生殖細胞やiPS細胞の保存用の超低温冷凍庫のために作ったものであったが、思わぬ形で同社の電池が広く知れ渡ることとなった。「今回のことを通して、医療関係の方々にこの電池が認知されるようになりました。今後は当初ターゲットとしていたところにも買ってもらえるようになると思います」と塚本さんは見通しを語る。

常識を超える革新的な電池

そして、2、3年後の商品化を目指して特に力を入れているのが、燃料電池と鉄-空気電池が融合した「SHUTTLE Battery™（シャトル電池）」。

燃料電池（電池といっても実態は発電装置で、水素と酸素を取り込みH₂Oを放出して発電する）と気密容器で囲われた中に鉄粉が入っている。燃料電池の発電で出た水蒸気（H₂O）が容器内の鉄粉と反応して酸化鉄と水素になり、その水素が再び燃料電池の発電に使われて…と循環する。逆に、充電時には水蒸気の電気分解が起こり酸化鉄が還元される。鉄の酸化と還元によって繰り返し使うことができる電池だ。一般的な燃料電池と異なり水素を連続供給するためのタンクやパイプラインが不要なため、大きなコスト削減につながる。容器内の鉄粉の反応が終了するまで安定して発電することができ、



「SHUTTLE Battery™」の原理を表した図。放電時には酸素を取り入れることで赤矢印の反応が起こり、充電時には青矢印の反応が起こることで酸素を放出している。



その蓄電エネルギーはリチウムイオン電池の5倍にもなる。

シャトル電池をエネルギーのハブに

新しい電力供給システム「スマートグリッド」というものがある。その主なポイントは、IT技術による双方向の送電と再生可能エネルギー。同社でも「Power Net」という未来のエネルギーシステムを掲げており、さまざまな蓄電池を統一したネットワークで結ぶことで、電気エネルギー供給の安定化と災害に強い社会づくりを目指している。また、ネットワークの活用で無駄のない電力利用が実現し、地球環境への貢献にもつながる。「インターネット通信にデータセンターがあるように、電気にもエネルギーセンターのようなものを作りたい。シャトル電池の蓄電エネルギーを活用して、電子データのようにエネルギーを双方向的に扱えるネットワークを作ることが目標です」と塚本さん。シャトル電池をエネルギーのハブとして、新しい蓄電インフラの構築を目指す。

調

査リポート

2021年12月期「中景景気動向調査」結果より

景気動向の概要

業況D.I.は、
前期比5.5ポイントの改善

地元中小企業の経営環境は、前回調査時から5.5ポイント改善の△36.6となりました。業種別に見ても、サービス業（17.6ポイント）、卸売業（9.4ポイント）、建設業（5.0ポイント）、製造業（2.2ポイント）、小売業（2.1ポイント）、不動産業（1.2ポイント）と全業種で改善となりました。コロナ禍で△67.3まで冷え込んだ地元中小企業の景況感は、今回調査で3期連続して改善となり緩やかに持ち直しつつあるようです。

業況D.I.の2022年3月期予想は、全業種平均で今期比3.7ポイント増加し引き続き改善で推移すると予想しています。業種別では、不動産業（10.3ポイント）、卸売業（7.2ポイント）、製造業（5.4ポイント）、小売業（4.2ポイント）は改善、建設業（2.6ポイント）、サービス業（1.2ポイント）は悪化を予想しています。売上D.I.については全業種平均で2.3ポイント改善、収益D.I.は全業種平均で0.8ポイント減少の横ばいで推移すると予想しています。

「懸念される第6波による影響が心配」など依然続くコロナ禍の影響を懸念する声が少なくない一方で、「ワクチンパス

ポートなどに期待したい」「緊急事態宣言下での制限緩和をめぐる議論に注目している」「GOTOトラベル等の早期再開に期待したい」など緊急事態宣言下でも経済活動を正常化させる動きへの期待を反映し、先行きについても引き続き改善するとの見方となりました。しかしながら、半導体の供給不足をはじめ、商品・原材料の高騰などの影響が懸念され、来期の予想どおり4期連続の改善で回復基調を維持できるのか、地元中小企業を取り巻く経済情勢の動向がより一層注目されます。

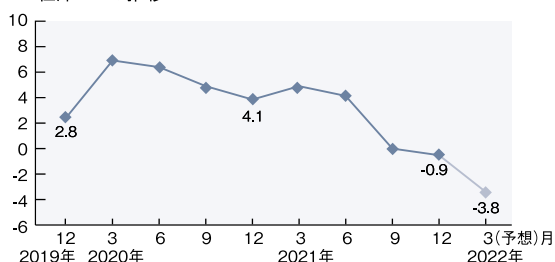
調査要領

全体	698社	(調査時点 2021年11月)	
製造業	237社 (34.0%)	サービス業	86社 (12.3%)
卸売業	99社 (14.2%)	建設業	133社 (19.1%)
小売業	94社 (13.5%)	不動産業	49社 (7.0%)

対象範囲 京都府内、一部の滋賀・大阪・奈良の当庫取引先981社
回答数 698社 回答率 71.2%
分析方法 D.I. (Diffusion Index) による
*D.I.=「増加」(増加+やや増加)と回答された企業割合-「減少」(減少+やや減少)と回答された企業割合

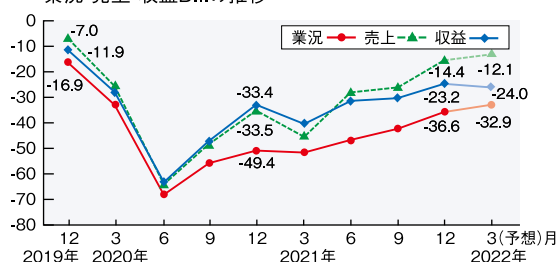
在庫 | 在庫D.I.は横ばい

在庫D.I.の推移



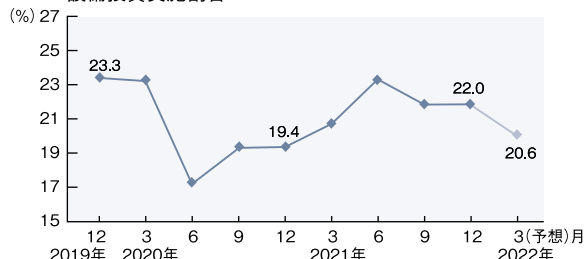
業況 | 業況・売上・収益D.I.すべて改善

業況・売上・収益D.I.の推移



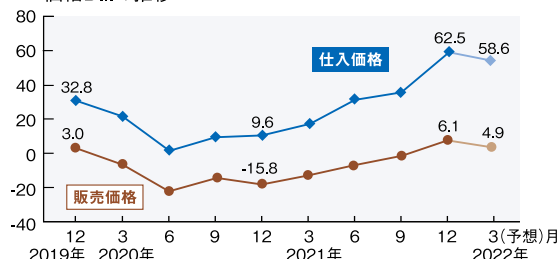
設備投資 | 依然として設備投資には慎重

設備投資実施割合

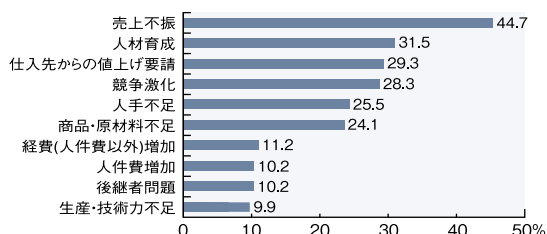


価格 | 販売・仕入価格D.I.ともに上昇、乖離幅は拡大

価格D.I.の推移

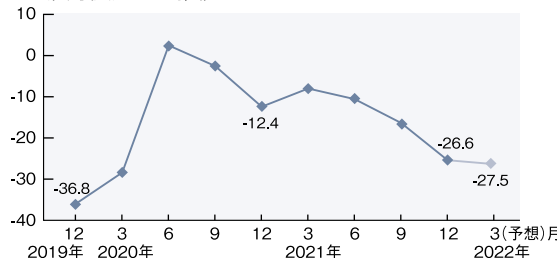


経営上の問題点 | 引き続き「売上不振」が深刻

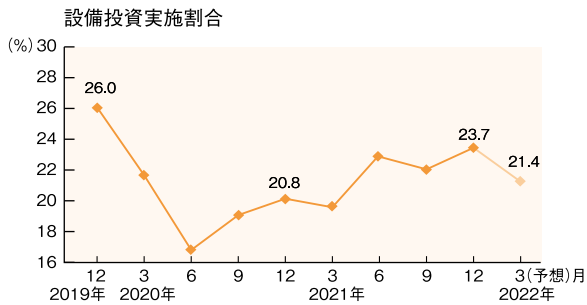


雇用状況 | 雇用D.I.は下降

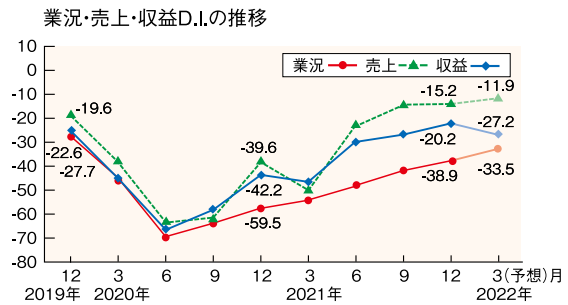
雇用状況D.I.の推移



設備投資 | 依然として設備投資には慎重



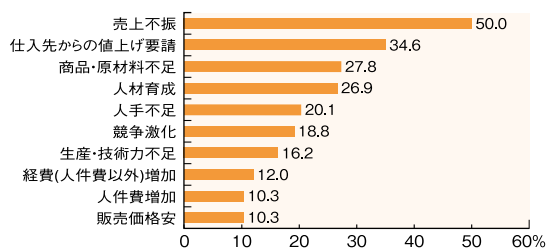
業況 | 業況・収益D.I.はともに改善、売上D.I.は横ばい



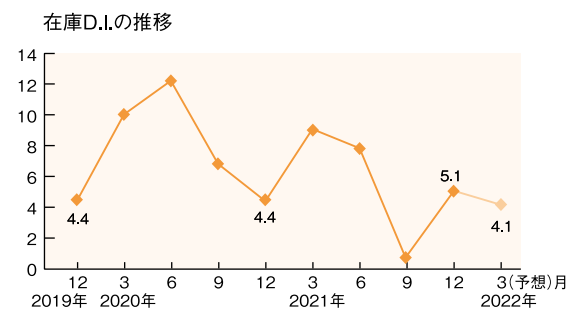
製造業

雇用状況 | 雇用D.I.は下降

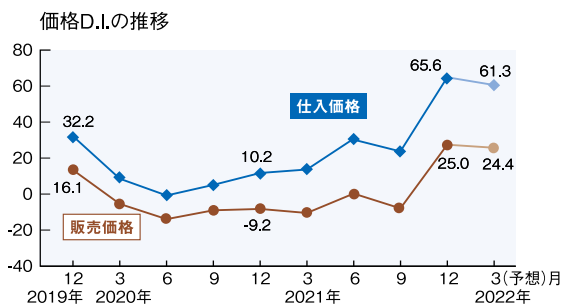
経営上の問題点 | 引き続き「売上不振」が深刻



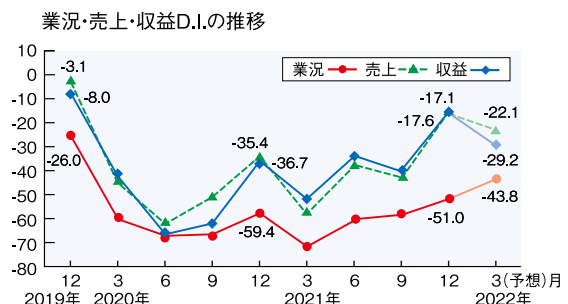
在庫 | 在庫D.I.は上昇



価格 | 販売・仕入価格D.I.はともに上昇、乖離幅は拡大



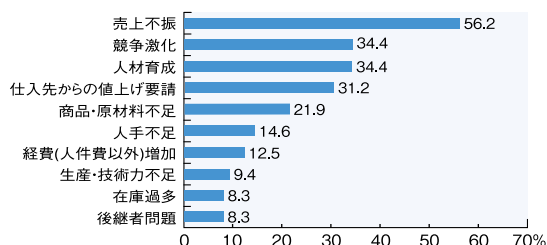
業況 | 業況・売上・収益D.I.すべて改善



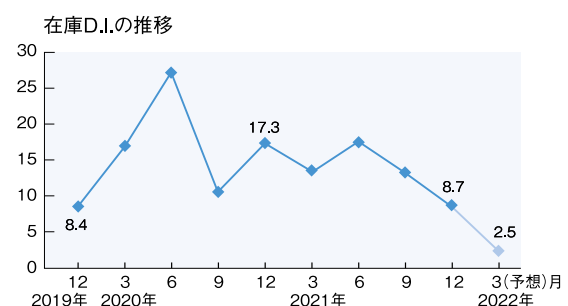
卸売業

雇用状況 | 雇用D.I.は下降

経営上の問題点 | 引き続き「売上不振」が深刻



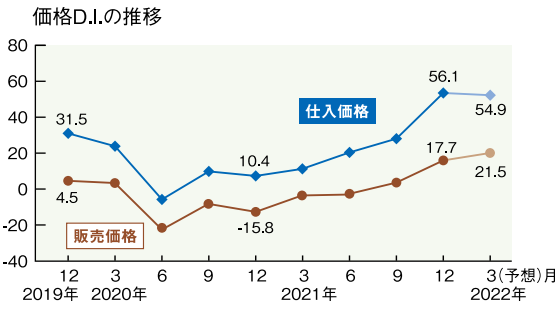
在庫 | 在庫D.I.が下降



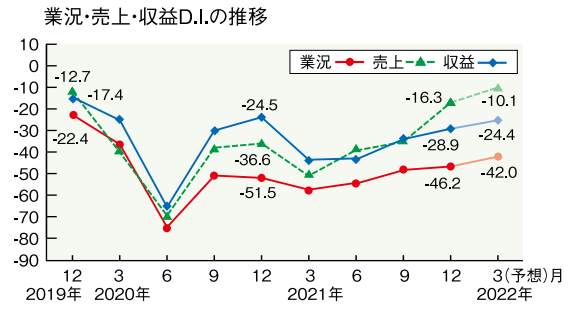


小売業

価格 | 販売・仕入価格D.I.ともに上昇、乖離幅は拡大

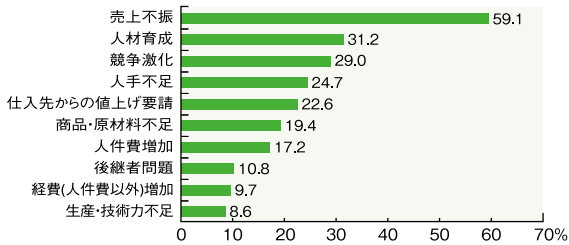


業況 | 業況・売上・収益D.I.はすべて改善



雇用状況 | 雇用D.I.は下降

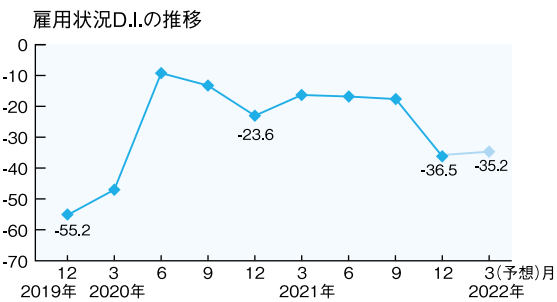
経営上の問題点 | 引き続き「売上不振」が深刻



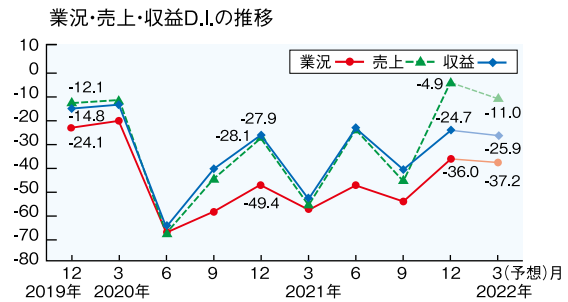
在庫 | 在庫D.I.は下降



雇用状況 | 雇用D.I.は下降

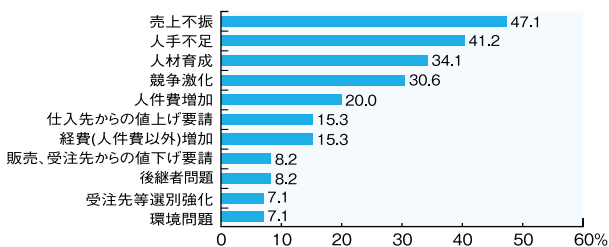


業況 | 業況・売上・収益D.I.はすべて改善

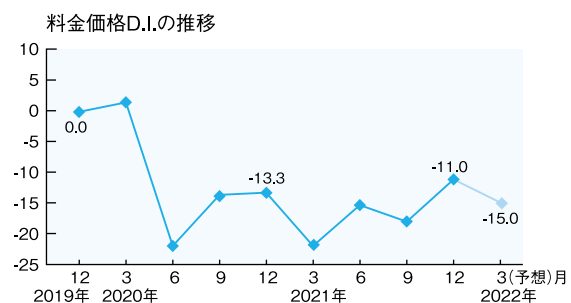


サービス業

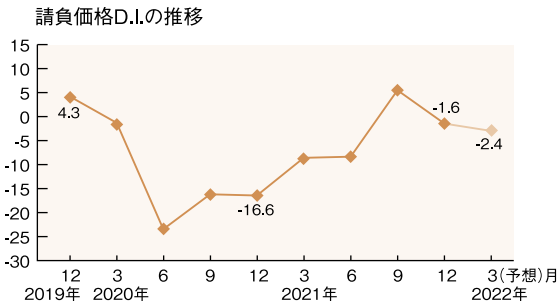
経営上の問題点 | 引き続き「売上不振」が深刻



価格 | 料金価格D.I.は上昇

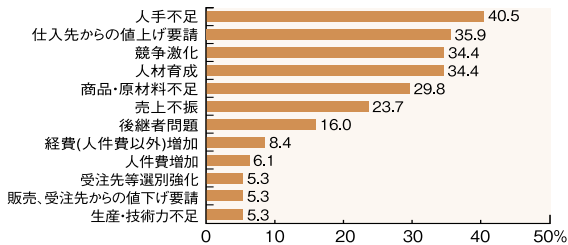


価格 | 請負価格D.I.は下降

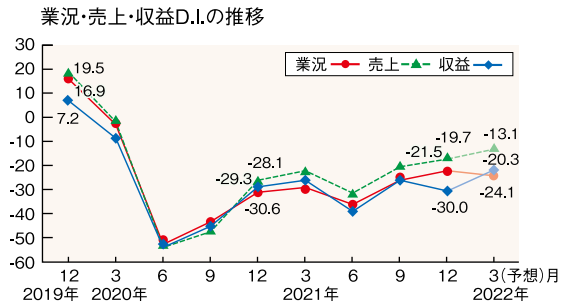


雇用状況 | 雇用D.I.は下降

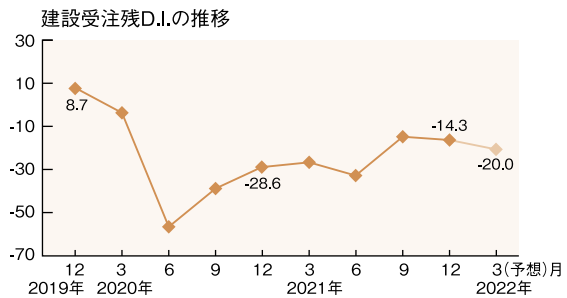
経営上の問題点 | 「人手不足」が深刻



業況 | 業況・売上D.I.はともに改善し、収益D.I.は悪化



受注残 | 受注残D.I.は横ばい

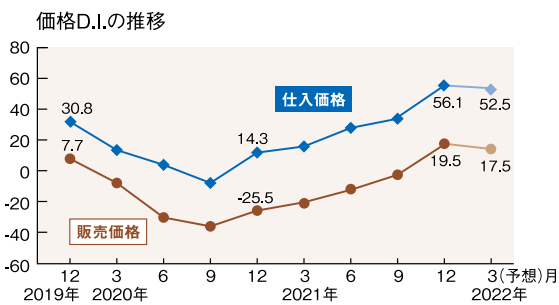


施工高 | 施工高D.I.は下降

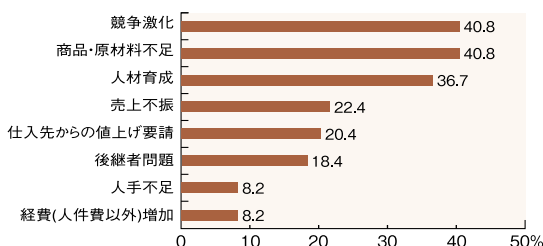
在庫 | 在庫D.I.は下降

建設業

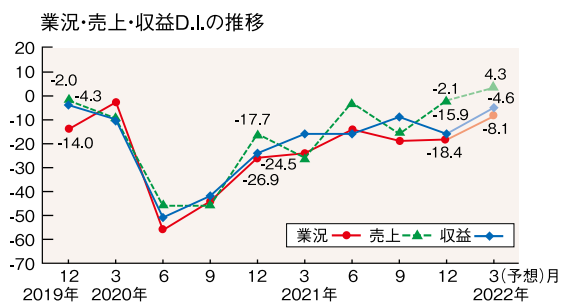
価格 | 販売・仕入価格D.I.はともに上昇、乖離幅は拡大



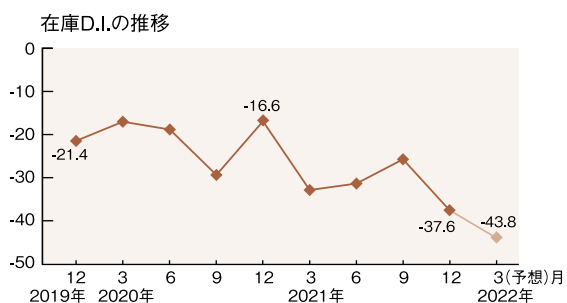
経営上の問題点 | 「競争激化」「商品・原材料不足」が深刻



業況 | 業況・売上D.I.はともに改善、収益D.I.は悪化



在庫 | 在庫D.I.は下降



不動産業

「2022年の経営見通し」について

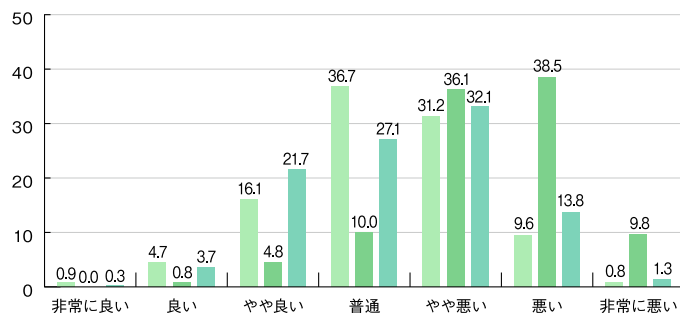
各グラフの凡例 2020年 2021年 2022年

調査先数 981社
有効回答数 698社
調査日 2021年11月

1 2022年の日本の景気をどのように見通していますか？

全体では「やや悪い」が32.1%で1位、「普通」が27.1%で2位、「やや良い」が21.7%で3位となりました。

2022年の経営見通しについて〈日本の景気〉(%)

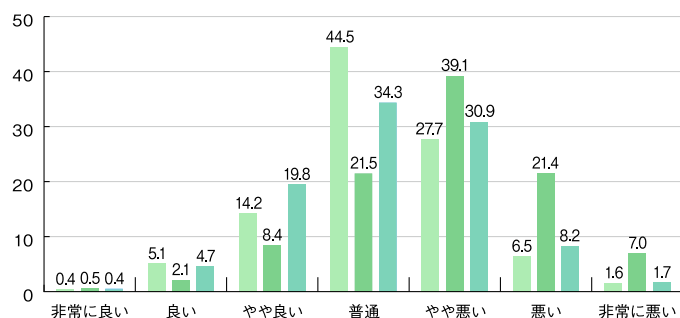


昨年調査との対比で見ると、「非常に良い」ポイント増加の25.7%に対し、「非常に悪い」「悪い」「やや悪い」の合計が昨年比37.2ポイント減少の47.2%と、今期調査では昨年より改善の見通しとなり、来年に向けた日本の景気について明るい見通しをしている企業が増加しているようです。

2 2022年の自社の業況景気をどのように見通していますか？

全体では「普通」が34.3%で1位、「やや悪い」が30.9%で2位、「やや良い」が19.8%で3位となりました。

2022年の経営見通しについて〈自社の業況(景気)〉(%)

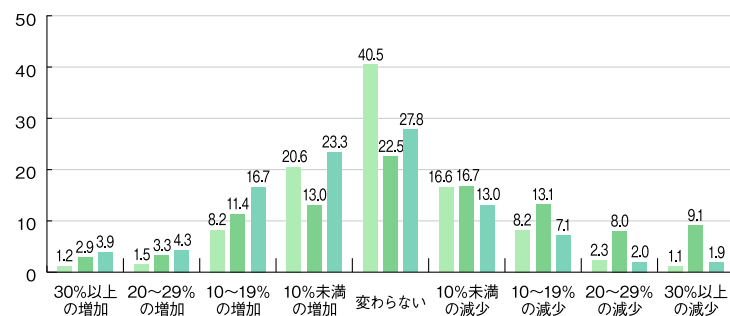


昨年調査との対比で見ると、「非常に良い」「良い」「やや良い」の合計が昨年比13.9ポイント増加の24.9%に対し、「非常に悪い」「悪い」「やや悪い」の合計が昨年比26.7ポイント減少の40.8%と、問1と同じく自社の景気についても昨年より明るい見通しをしている企業が増加しているようです。

3 2022年において売上額の伸び率は2021年に比べておおよそどのくらいになると見通していますか？

全体では「変わらない」が27.8%で1位、「10%未満の増加」が23.3%で2位、「10%の増加」が16.7%で3位となりました。

2022年の売上額伸び率について(%)

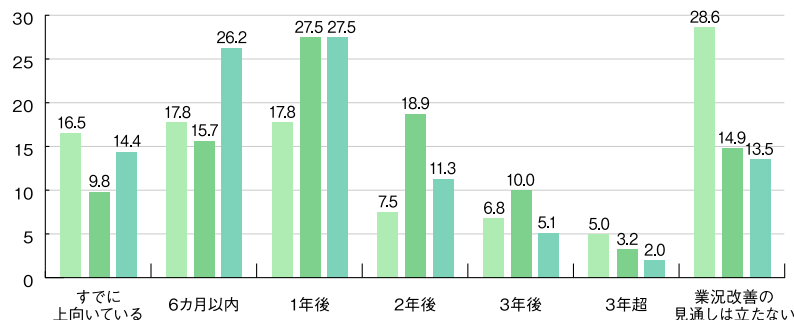


昨年調査との対比で見ると、「増加」「減少」と大きく3分類すると、全体で「増加」48.2%に対し「減少」は24.0%となりました。前年に比べ「増加」が17.6ポイント増加しており、景気の見通しと同じく昨年より明るい見通しとなっています。

4 自社の業況が上向く転換点をいつ頃になると見通していますか？

全体では「1年後」が27.5%で1位、「6カ月以内」が26.2%で2位、「すでに上向いている」が14.4%で3位となりました。

自社の業況が上向く転換点について(%)

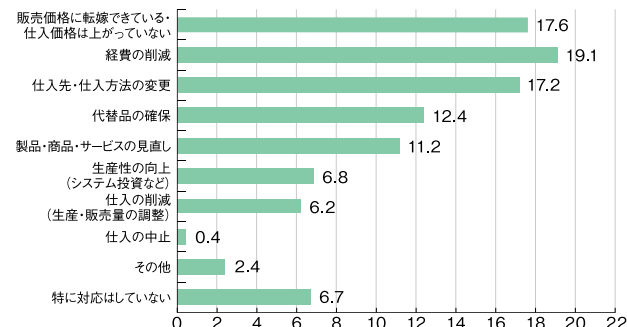


昨年調査との対比で見ると、「1年後」が27.5%で1位、「6カ月以内」が26.2%で2位、「すでに上向いている」が14.4%で3位となりました。コロナ禍で大きく落ち込んだ業況について、比較的早期に上向くと見通している企業が増加しているようです。

5 様々な分野で原材料・仕入価格の上昇が経営上の問題となっていますが、どのような対応を取っていますか？

原材料・仕入価格の上昇による経営上の問題に対する対応について、「販売価格に転嫁できている。仕入価格は上がっていない」との回答が17.6%となりました。

仕入価格上昇への対応について(%)



一方で、仕入価格の上昇分を価格転嫁できていない企業における対応については、「経費の削減」が19.1%、「仕入先・仕入方法の変更」が17.2%、「代替品の確保」が12.4%、「製品・商品・サービスの見直し」が11.2%となりました。多くの企業で仕入価格の上昇分を価格転嫁できず、対応に苦慮しているようです。

「2021年冬季ボーナス支給予定」について

1 今年の冬季ボーナス支給の有無(予定)について

全体では「支給する」との回答が昨年比1.5ポイント増加し51.5%となりました。一方、「支給なし」は昨年比0.7ポイント減少し28.2%となり、「未定」は昨年比0.8ポイント減少し20.3%となりました。業種別に見ると、「支給する」が昨年比増加したのは卸売業4.5ポイント増加、サービス業(3.5ポイント増加)建設業(1.7ポイント増加)小売業(0.9ポイント増加)となりました。一方、「支給する」が昨年比減少したのは、不動産業(0.8ポイント減少)製造業(0.2ポイント減少)となりました。

2 支給率は?

支給すると回答された方のみ、以下の問いにお答えください

全体では「1.1~1.5カ月」が31.2%(昨年比3.7ポイント増加)で1位、「0.6~1.0カ月」が28.8%(昨年比2.5ポイント減少)で2位、「1.6~2.0カ月」が13.9%(昨年比1.6ポイント増加)で3位となりました。また、1.6カ月以上の合計が26.9%(昨年比3.8ポイント増加、1カ月以下の合計は41.8%(昨年比7.6ポイント減少)となりました。

3 支給率、対前年比では?

全体では「前年並」が72.2%(昨年比10.7ポイント増加)、「上回る」が16.6%(昨年比8.7ポイント増加)、「下回る」が11.2%(昨年比19.4ポイント減少)となりました。業種別に見ても、不動産業を除いた業種で「下回る」が昨年比減少しており、支給率については若干明るい見通しの企業が増加しているようです。

4 支給金額は?

支給金額は、「20~30万円未満」が27.2%(昨年比5.7ポイント減少)で1位、昨年3位の「30~40万円未満」が22.3%(昨年比4.2ポイント増加)で2位、次いで昨年2位の「10~20万円未満」が21.7%(昨年比0.1ポイント増加)で3位と続いています。業種別では、製造業・卸売業・小売業・建設業では「20~30万円未満」、サービス業では「10~20万円未満」(不動産業では「30~40万円未満」)が最も高い割合となり、業種による差異が発生する結果となっています。

5 支給金額、対前年比では?

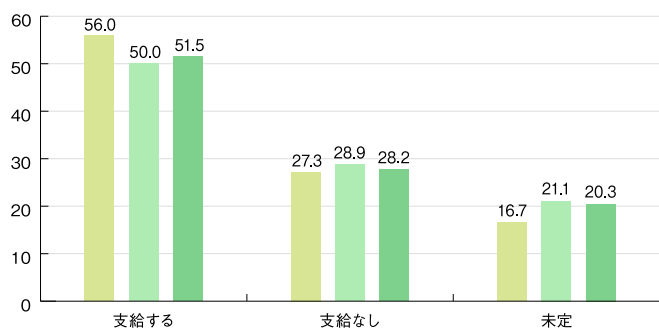
全体では「支給率の対前年比」調査同様、「前年並」が66.5%(昨年比7.4ポイント増加)、「上回る」が21.2%(昨年比12.3ポイント増加)、「下回る」が12.4%(昨年比19.6ポイント減少)となりました。業種別に見ても、すべての業種で「上回る」が増加しており、明るい見通しの企業が増加しているようです。

各グラフの凡例

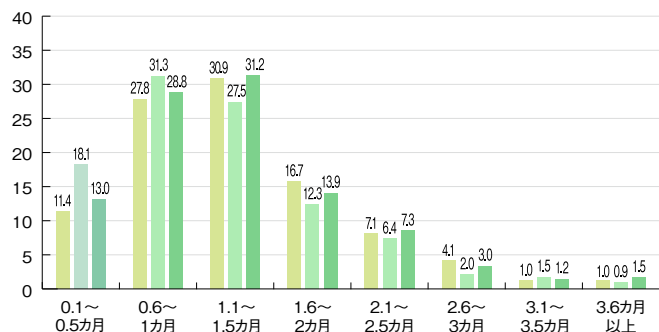
	2021年	2020年	2019年

調査先数 981社
有効回答数 698社
調査日 2021年11月

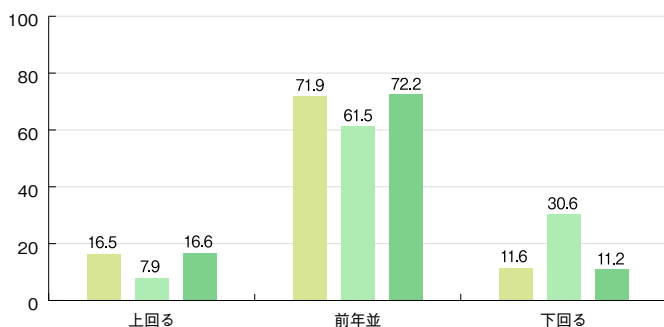
冬季ボーナス支給予定(%)



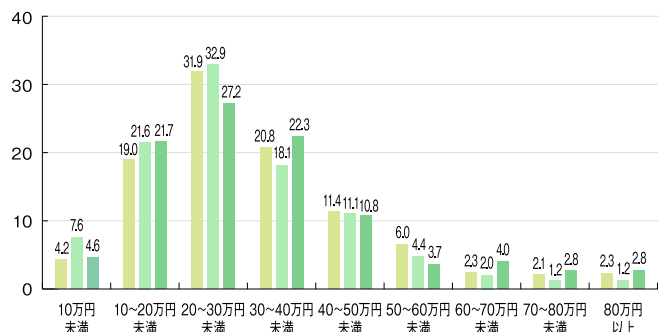
支給率(%)



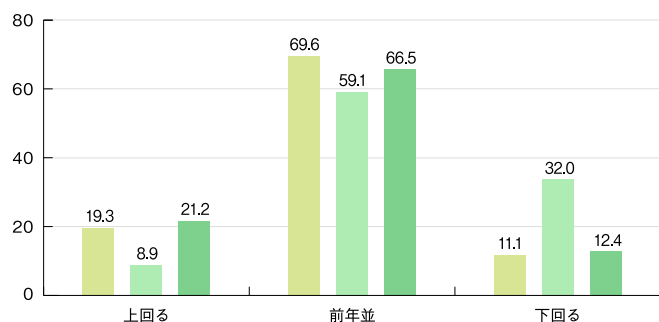
対前年比(支給率)(%)



支給金額(%)



対前年比(金額)(%)



今井政之 IMAI

—自然へのときめき—



IMAI
MAYUKI

2022.2.10 — 3.18

[木] [金] 入場無料

開館時間：午前10時～午後5時（入場は午後4時45分まで） 休館日：月曜日
主催：公益財団法人中信美術奨励基金 協力：京都中央信用金庫

中信美術館

■お問い合わせは財団事務局 京都中央信用金庫 On Your Side 事業部
CSR推進課 TEL.075(223)8385 FAX.075(223)2563《土曜日につきま
しては、右記へお問い合わせください。0120-201-969(フリーダイヤル)》

京都市上京区下立売通油小路東入西大路町136-3(京都府庁正門西約100メートル) 専用駐車場はございません 地下鉄/丸太町駅下車10分 市バス/堀川下立売下車2分 TEL.075(417)2323

感染症対策(ご来館のお客様へお願い) ・マスクの着用をお願いします。・発熱や咳など風邪のような症状がある方はご来館をお控えください。熱などの症状が認められた場合、入館をお断りする場合があります。・展示室内混雑時に入場制限をさせていただくことがあります。・新型コロナウイルス感染症の状況により、予定を変更する場合があります。・最新情報は「中信美術館」のホームページにてお知らせします。



京博連



この報告書は環境に
配慮し、植物油インキを
使用しています。

発行 | 2022.2

京都中央信用金庫 On Your Side事業部
〒600-8009 京都市下京区四条通室町東入函谷鉾町91番地
TEL (075) 223-8385 / FAX (075) 223-2563
URL <https://www.chushin.co.jp>

印刷 | 佐川印刷株式会社

